

# 神奈川県農林水産業についてご紹介します！



農林水産省関東農政局神奈川県拠点  
令和7年8月版

(神奈川県の花 やまゆり)

# 目次

## (1) 神奈川県農業の概要

神奈川県農業の特徴	4
神奈川県各地域における主な農産物	5

## (2) データでみる神奈川県

神奈川県農業	7
神奈川県林業と水産業	8
農業地域類型区分と田畑の状況(令和5年)	9
市町村別農業産出額と耕地面積(令和5年)	10

## (3) 神奈川県における主な取組

2027年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)	12
市民農園	13
こども食堂・フードバンク等	14
6次産業化	15
かながわブランド「足柄茶」生産100周年	16
みどりの食料システム戦略～下水汚泥から肥料原料を回収する取組を推進～	17

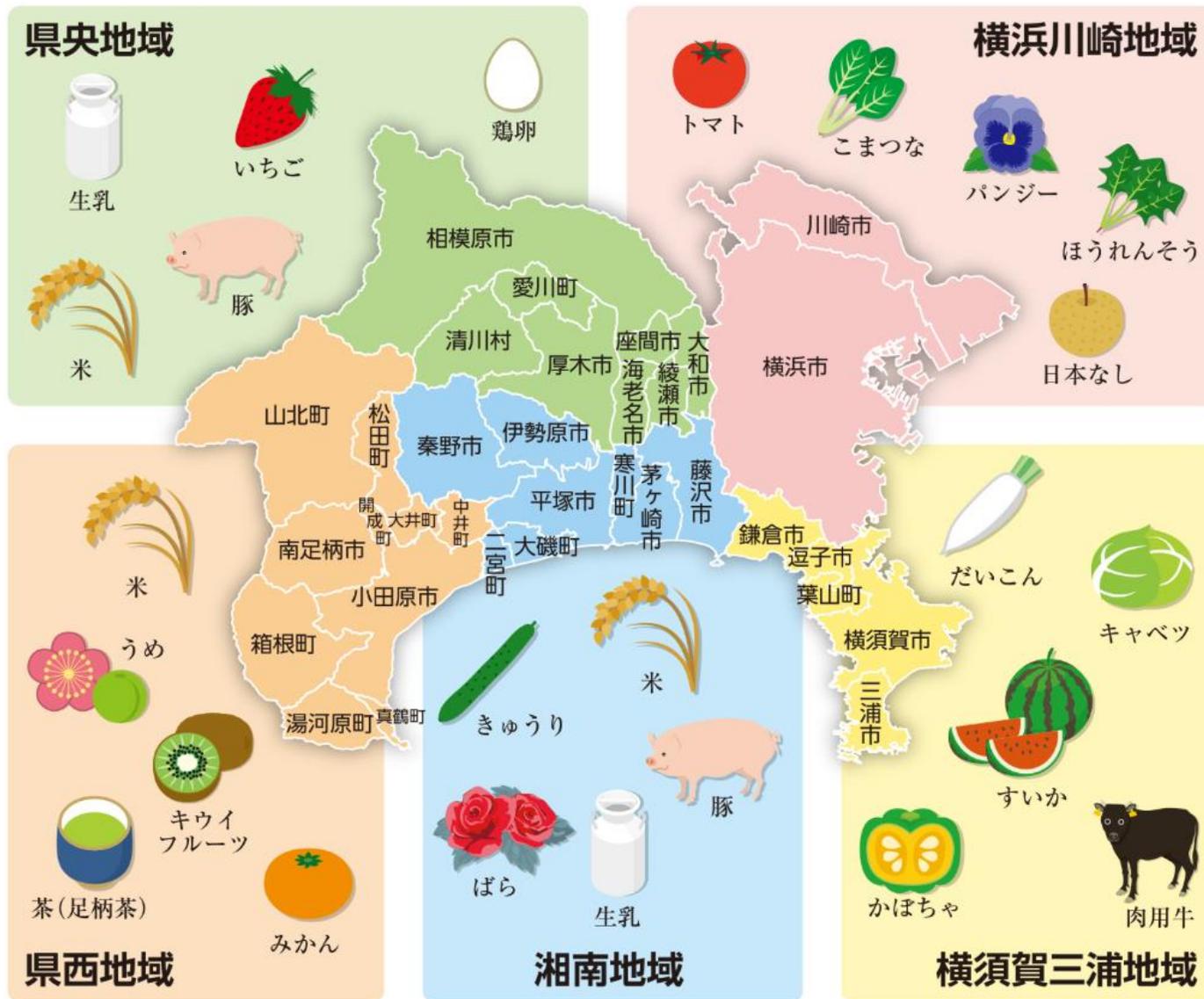
# (1) 神奈川県農業の概要

# 神奈川県農業の特徴

- 神奈川県の農業は、約920万人の人口を抱えた都市農業が中心で、消費者と農業者との距離が近いことが特徴です。安くて新鮮な県内産の農産物に対する消費者ニーズは高く、生産者は限られた農地を効率的に使った少量多品目生産でそれに応えています。
- 県内には市民農園や観光農園等が多数存在し、消費者が農業にふれあう機会に恵まれています。
- 県西に位置する丹沢・足柄地方の中山間地域では、主に茶や果樹等の栽培が行われています。

# 神奈川県における主な農産物

温暖な気候や大消費地に近いという利点を活かして、野菜や果樹、畜産などの生鮮食品を中心とした生産が盛んです。

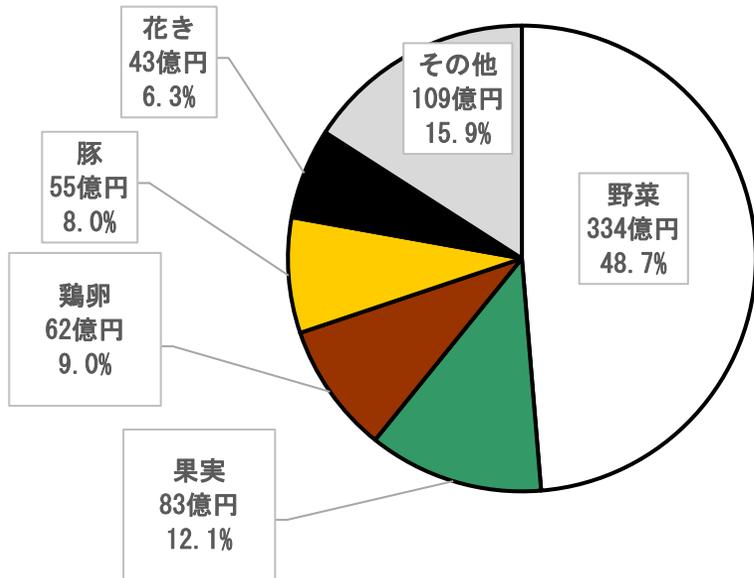


## (2) データで見る神奈川県

# 神奈川県農業

農業産出額は686億円で全国39位、うち野菜が334億円(48.7%)、果実が83億円(12.1%)となっています。

## <農業産出額の概略>



## <農産物の生産状況>

区分	年次	神奈川県	全国	全国順位	
だいこん	収穫量	R5	73,000t	1,141,000t	5
こまつな	収穫量	R5	6,700t	121,200t	5
キャベツ	収穫量	R5	61,600t	1,434,000t	7
かぼちゃ	収穫量	R5	3,460t	159,700t	7
うめ	収穫量	R6	1,070t	51,600t	4
キウイフルーツ	収穫量	R5	1,190t	22,100t	4
みかん	収穫量	R5	13,100t	681,600t	11
日本なし	収穫量	R6	3,300t	172,700t	14
ばら	出荷量	R5	9,110千本	184,000千本	6
パンジー	出荷量	R5	5,680千本	98,600千本	3

# 神奈川県其林業と水産業

## 林業

- ・林業産出額は、4.7億円で全国46位。
- ・林産物の生産量は  
生きくらげ類が全国18位、ひらたけが  
20位。

区 分		神奈川県	全国	全国 順位
生きくらげ類	生産量	24 t	1,680 t	18
ひらたけ	生産量	4 t	4,372 t	20
黒炭	生産量	7 t	3,416 t	29
たけのこ	生産量	8 t	16,528 t	36

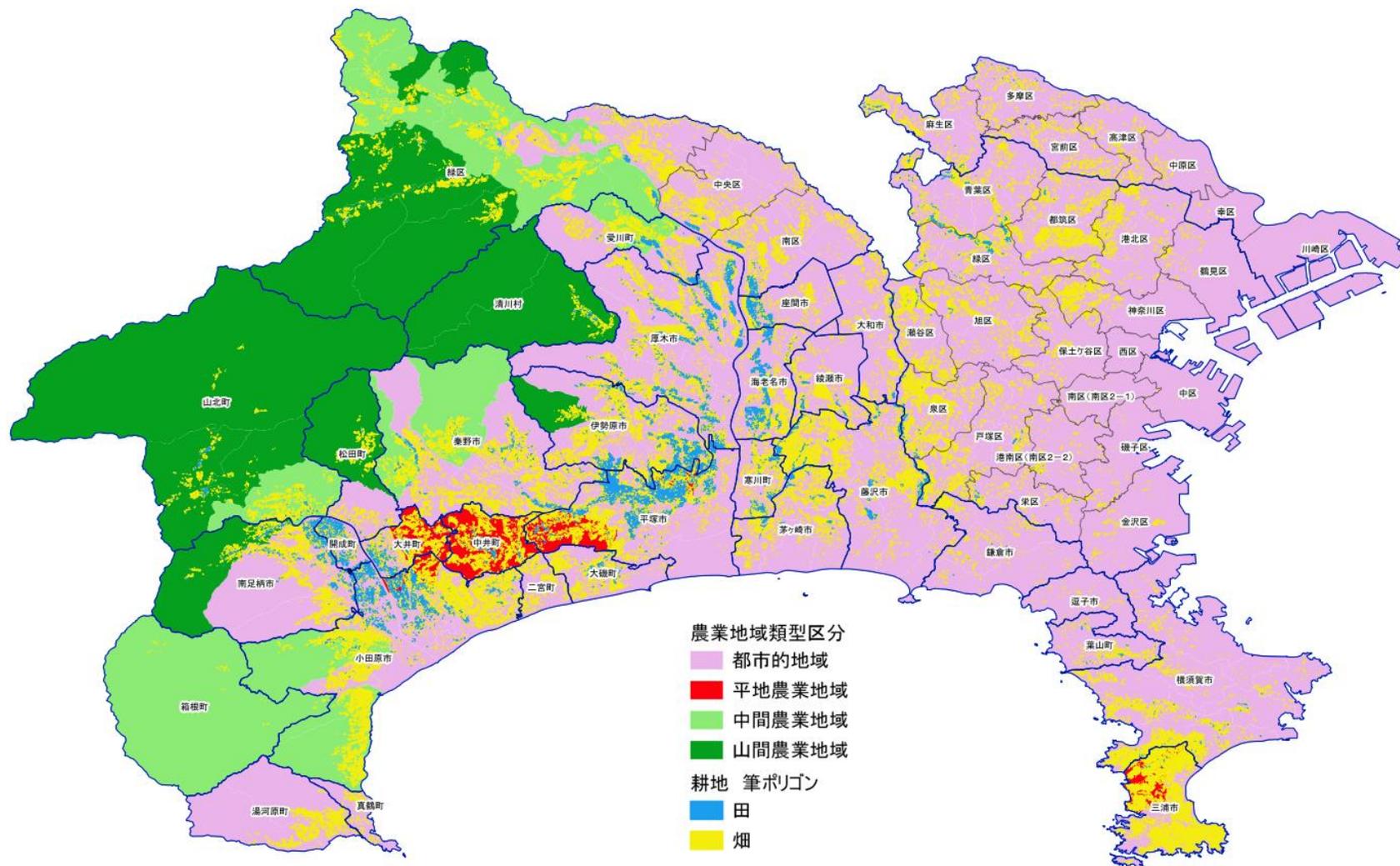
## 水産業

- ・漁業産出額(海面漁業・養殖業)は、  
150億円で全国27位。
- ・水産物の生産状況は、このしろ(海面  
漁業)とこんぶ(海面養殖業)が全国3  
位。あゆ(内水面漁業)が4位。

区分		神奈川県	全国	全国 順位
このしろ	海面漁業漁獲量	348 t	4,099 t	3
めばち	海面漁業漁獲量	1,279 t	28,372 t	12
こんぶ	海面養殖業収穫量	41 t	25,741 t	3
くろのり	海面養殖業収穫量	308 t	191,546 t	14
あゆ	内水面漁業漁獲量	121 t	1,697 t	4

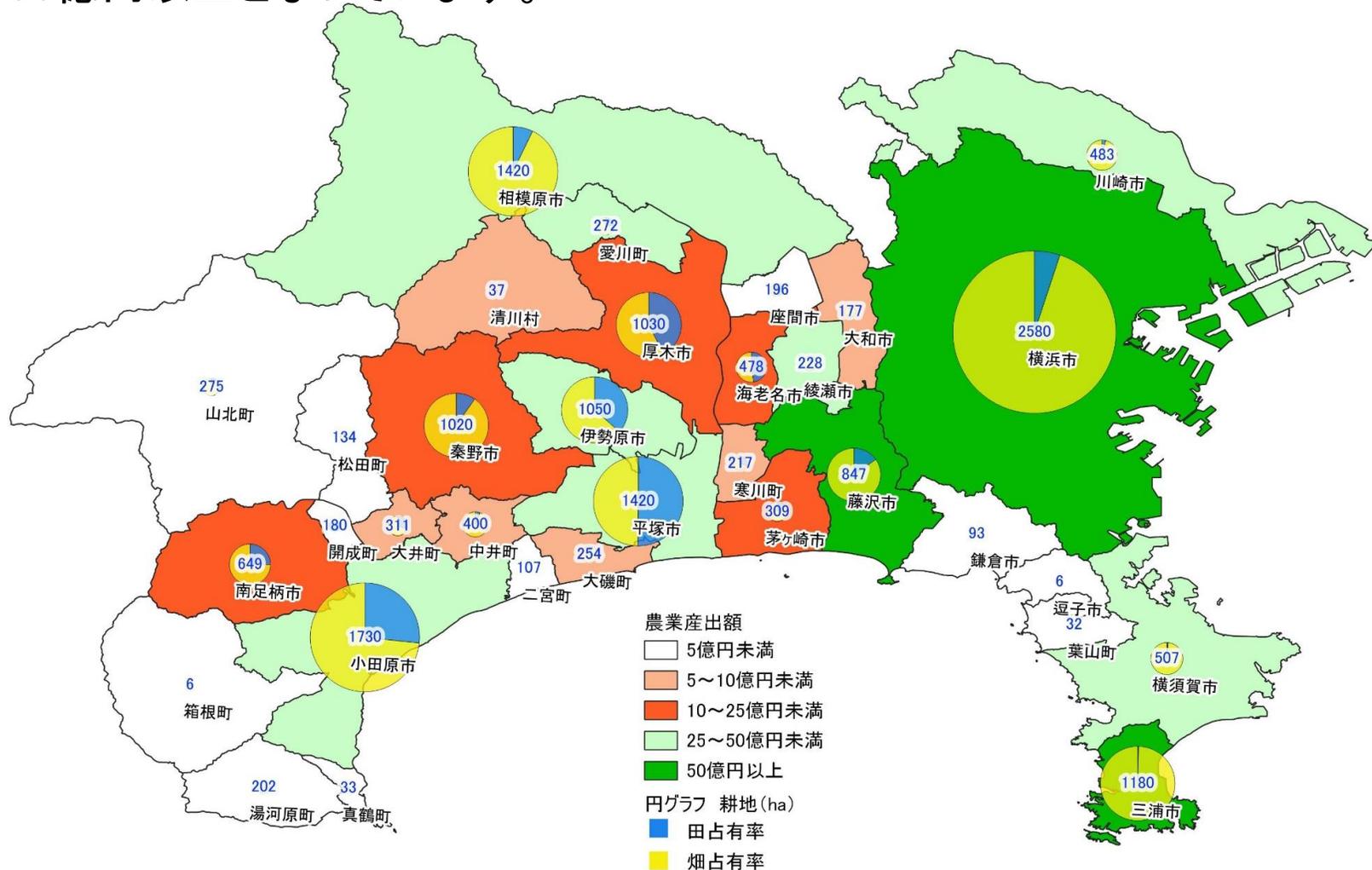
# 農業地域類型区分と田畑の状況（令和5年）

神奈川県は都市的地域であるものの、県西の一部では中山間農業地域が広がっています。また、耕地面積のおよそ80%を畑が占めています。



# 市町村別農業産出額と耕地面積（令和5年）

神奈川県は耕地面積は少ないものの、技術力を活かした生産性の高い経営が行われています。そのため、横浜市、藤沢市、三浦市において農業産出額は50億円以上となっています。



# **(3) 神奈川県における 主な取組**

# 2027年国際園芸博覧会（GREEN × EXPO 2027）

- 国際園芸博覧会とは、国際的な園芸文化の普及などを目的とした国際的な博覧会です。
- 2027年3月19日～9月26日の期間、横浜市の旧上瀬谷通信施設にて開催されます。
- 神奈川県拠点では、ホームページ「かながわ花いっぱいプロジェクト」を立ち上げる等、国際園芸博覧会の機運醸成に励んでいます。



神奈川県拠点ホームページ  
「かながわ花いっぱいプロジェクト」



# 市民農園



市民農園の利用者へみどりの食料システム戦略に関する説明を行う様子(厚木市 飯山農楽校)

- 市民農園とは、都市住民の方々が生きがいづくりや児童の体験学習などの多様な目的で、小面積の農地を利用して野菜や花を育てるための農園です。
- 令和5年度における神奈川県の子市民農園数は727箇所全国1位(※)となっています。
- 市民農園を利用したいというニーズは高いですが、市民農園の多くに空きがなく、空きがあってもわずかしかない現状です。
- そのため神奈川県拠点では、関係機関に対して市民農園開設に係る手続き等を周知しつつ、市民農園を推進しています。

(※)出典:「第98次農林水産省統計表」(農林水産省)

# こども食堂・フードバンク等

- 令和6年度における神奈川県内のこども食堂の箇所数は、594箇所<sup>(※)</sup>で全国4位<sup>(※)</sup>となっています。
- 神奈川県拠点では、毎年こども食堂やフードバンクと意見交換を実施し、引き続き必要な支援を行っています。



(※) 出典:「2024年度こども食堂全国箇所数調査」  
(認定NPO法人 全国こども食堂センター・むすびえ)

神奈川県内のこども食堂(令和7年1月現在)及び  
フードバンク・フードパントリーの箇所数(令和6年11月現在)  
【神奈川県拠点調べ ホームページで住所記載がある箇所のみ掲載】

# 6次産業化

- 6次産業化とは、1次産業（農林漁業）と、2次産業（製造業）、3次産業（小売業）との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組です。【1次×2次×3次＝6次産業】
- 神奈川県では、野菜や果樹、畜産物を活用した6次産業化商品が多く生産されています。

## ＜神奈川県の実例＞

自社で生産する三浦野菜を使用したジャムやピクルスなどを製造し、自社直売所やオンラインで販売。



画像：三浦やさい高梨農園

自社で生産する生乳を使用し、地場産（湘南・平塚）の農産物を活用したイタリアンジェラートの製造・販売を行う。



画像：浜田牧場 ジェラテリアベガ

# かながわブランド「足柄茶」生産100周年

(足柄茶100周年ロゴマーク)

- かながわブランドに認定されている「足柄茶」は、令和7年で栽培開始から100周年を迎えました。
- 大正12年に発生した関東大震災の復興作物として、現在の足柄上郡山北町において植え付けが始まったとされています。
- 神奈川県拠点では、足柄茶100周年をPRするため、令和7年8月に関東農政局本局で開催された「夏休み親子見学デー」にて、お茶を急須で淹れる親子体験イベントに参加しました。



足柄茶展示ほ設置の様子



足柄茶 急須淹れ体験の様子



# みどりの食料システム戦略 ～下水汚泥から肥料原料を回収する取組を推進～



りん回収施設

- 横浜市では、国内での資源循環や食料安全保障の強化につなげるため、JA横浜及びJA全農かながわと連携して、下水汚泥から回収した「再生リン」を配合した肥料の開発や利用拡大に向けた取組を推進しています。
- 同市では、これらの取組を2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）において国内外に発信することを予定しており、「再生リン」を配合した肥料は、今後市内を中心に普及展開される見通しです。